

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公表番号】特表2011-522671(P2011-522671A)

【公表日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【年通号数】公開・登録公報2011-031

【出願番号】特願2011-513511(P2011-513511)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/158 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/14 3 6 9 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月19日(2012.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジングと、
ハウジングから突出するカニューレと、
外部にある流体源または流体容器に取付け可能なコネクタと、
カニューレ及びコネクタの間で流体の流れを可能にする流体流れ経路と、
少なくとも一部分が移動可能なアクチュエータであって、流体流れ経路の一部分の位置
を変えることで、流体の流れを終了させるか又は流れ方向を変えられるようになし、カニ
ューレの引込みを開始させることができるアクチュエータとを具えている、装置。

【請求項 2】

アクチュエータは、ハウジングに関して軸方向に移動可能である請求項 1 の装置。

【請求項 3】

アクチュエータは、ハウジングに関して回転しながら移動可能である請求項 1 の装置。

【請求項 4】

アクチュエータは、ハウジングに関して回動しながら移動可能である請求項 3 の装置。

【請求項 5】

アクチュエータは、ハウジングに関して円弧状に移動可能である請求項 3 の装置。

【請求項 6】

コネクタは、アクチュエータの一部である請求項 1 の装置。

【請求項 7】

流体流れ経路の一部分は、アクチュエータの一部である請求項 6 の装置。

【請求項 8】

アクチュエータは、流体流れ経路の少なくとも一部を通る流体の流れを終了させるか、
又は流れの方向を変えることができるように移動可能である請求項 1 の装置。

【請求項 9】

装置は、医療用装置である請求項 1 の装置。

【請求項 10】

流体は、液体、気体、懸濁液及びスラリーからなる群から選択される請求項 1 の装置。

【請求項 11】

流体流れラインにおけるクランプとして用いられる請求項 1 の装置。

【請求項 1 2】

流体流れ経路への流体の漏洩又は流体流れ経路からの流体の漏出を防ぐことができるように構成された少なくとも１つのシール要素をさらに具えている請求項 1 の装置。

【請求項 1 3】

引込み用空洞部さらに有している請求項 1 の装置。

【請求項 1 4】

引込み用空洞部は、アクチュエータの一部である請求項 1 3 の装置。

【請求項 1 5】

引込み用空洞部は、流体流れ経路の少なくとも一部分と並んで配備される請求項 1 3 の装置。

【請求項 1 6】

カニューレ引込み機構をさらに具えている請求項 1 の装置。

【請求項 1 7】

カニューレ引込み機構は、カニューレホルダーと圧縮スプリングをさらに具えている請求項 1 6 の装置。

【請求項 1 8】

少なくとも１つのシール要素は、弾性Ｏリングである請求項 1 2 の装置。

【請求項 1 9】

シール要素は、アクチュエータとカニューレホルダーとの間に配備される請求項 1 2 の装置。